

Vol.

8

WINTER

Heartful 2003.1

はあとふる

地域の皆さまに、心(Heart)と技術(Hands)でヘルスケアサービスを提供するためのコミュニケーション誌

第11回 はあと&はんず

2002.11.17 第11回はあと&はんずアカデミー開催



「得意技を發揮」

平成15年度、はあとふるグループの基本方針です。
「法人の、施設の、部署の、そして、あなたの得意技を言えますか？」

その得意技を活かし、良質のケアを提供するには、誰と、どうやって、つながっていけばよいか、考えてください。」

と、今、管理者にスタッフになげかけています。こうした質問に、すべてのスタッフが

すぐに答えることができれば、きつと組織としても成長し続けることができると思うのです。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成十五年二月

はあとふるグループ

代表 島田 永和

はあとふるグループ

医療法人(財団) 永広会
社会福祉法人 はあとふる

<地域連携室・相談員のご紹介>

地域の方々が、 安心してヘルスケアサービスを受けられるために。

はあとふるグループの各施設では、相談員と呼ばれるスタッフが、患者さんやそのご家族におこる様々な問題などのご相談を承っております。

例えば退院後や転院先についてはもちろん、福祉サービスのご利用などについても、プロとして自信を持って対応いたします。また、地域の他の医療機関などと連携し、安心して地域の方々がヘルスケアサービスを受けられるようサポートしています。



相談員って、 具体的にどんなことを してくれるの？

患者 Aさん(男・62才) 病名 脳梗塞、糖尿病

- S病院で、脳梗塞の手術を行ったAさん。
手術後の経過が安定し、今後は継続的なリハビリが必要。担当医より退院またはリハビリの充実した病院への転院をすすめられる。
ご家族は「以前より身体が動かしにくくなったので退院は不安。リハビリの充実した転院先を探して」と、S病院の相談員に依頼がある。

背景: 家族は仕事のため不在になり、日中、Aさんは独居状態。
また、自宅廊下等に手すりはなく、敷居など段差も多く、転倒の危険なども多い。

- S病院相談員より島田病院相談員にAさんの「情報提供(紹介状)」が送られ入院相談がある。

情報提供をもとに、入院可能かどうかを医師と相談した結果、医師が入院の受け入れは可能と判断する。その結果をS病院の相談員へ報告し、ご本人とご家族に伝える。

- Aさんのご家族がS病院の紹介状などを持って訪問。島田病院の医師より入院中の治療方針などの説明を受け、納得の上、入院予約をされる。

患者Aさんを例に島田病院の相談員の役割をご紹介します。

同時に、たくさんの施設の相談員が一人の患者さんに関わっています。

相談員が介護保険について説明し、退院後の準備の為に申請をすすめたところ。申請されることに。また、リハビリ内容を含め、退院までのプランについてのお話しと、島田病院の施設を案内。

↓
<Aさん入院、リハビリを開始>

- 入院1週間後、その間のリハビリの成果をまとめた上で、第1回リハビリカンファレンスを開催。

参加メンバー: 医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語療法士、相談員

- Aさんの身体機能の評価と退院後の生活で予想される困る事を加味し、入院中のリハビリの目標設定など、リハビリプランを作成。リハビリの目標を達成するのに必要な期間は約1ヶ月半と決まる。

↓
<後日、結果を各スタッフからご本人、ご家族に説明>

↓
ご本人、ご家族と面談。退院後の準備についてお話しする。ご本人やご家族は、入院してリハビリしても退院後は日中一人なので、今の住宅環境にすぐ慣れるのか、一人の時に何か起るかもなどと不安。

●入院3週間後、第二回リハビリカンファレンス

リハビリの進行状況について確認。相談員よりご本人、ご家族が退院後の生活環境について不安があることを伝える。

退院後の自宅療養の環境を整える目的でリハビリスタッフ(理学療法士など)がご自宅を訪問。必要な箇所への手すりの設置や、つまづきやすい敷居などの段差をチェックし、解消方法などをご家族にアドバイス。

住宅改修や福祉用具の購入は介護保険を利用すると一割負担になる。ご家族に近隣の居宅介護支援事業所を紹介する。その結果、一番ご自宅から近いゆうゆう亭を選択され、ケアマネジャーが決まる。

<介護保険の認定の結果、介護度2となる>

Aさんについて、居宅介護支援事業所ゆうゆう亭のケアマネジャーへ今までの経過を報告する。

<住宅改修終了>

- 必要箇所への手すりの設置や、敷居など段差の解消の工事が終わったご自宅に、Aさんが試験外泊する。

結果、ご自宅の設備には問題ないが、病院から自宅へという環境の変化になれる為には、まだ少し不安があるようだ。

●入院5週間後、最終リハビリカンファレンス

リハビリの進行状況は予定通り。しかし、病院から即退院することはご本人、ご家族にとって不安がある事を相談員より報告。

ご本人とご家族へ、ご自宅へ不安なく帰ること、ご家族が介護に慣れることを目的として、その間は介護老人保健施設への入所を提案し、見学をすすめる。

Aさんについて、介護老人保健施設 悠々亭相談員へ今までの経過を報告する。

- ご家族と悠々亭相談員と面談し、施設見学と施設の説明した結果、ご本人もご家族も、自宅へ帰る準備期間として入所を希望。

- 悠々亭の各専門職種が集まり、情報をもとに入所について検討。

<介護老人保健施設 悠々亭へ入所>

- 悠々亭で退所後の生活に備えて、生活リハビリを行う。

- 試験外泊を行いながら退所後の不安や、困ることがないかを悠々亭相談員が細かくチェックし、その結果を各専門職種が集まるカンファレンスで調整する。

- Aさんの生活リハビリは順調にすすみ、退所にむけて、必要な在宅サービスについて相談員がケアマネジャーとご家族と共に相談する。自宅での入浴と日中一人の時の昼食が困るとのことで、デイサービスと配食サービスの利用を提案。退所後、糖尿病の治療の為に通院が必要なので、かかりつけ医としてMクリニックを紹介する。

ご家族に情提供書(紹介状)などを作成し渡す。

<1ヶ月の入所の後、ご自宅へ戻られる>

退所後は、ケアマネジャーが主となり、定期的な連絡や訪問などを行い、よき相談相手として関わり続ける。

スタッフのご紹介



地域の方々が安心して生活できるよう、よき相談者になりたいと考えています。いつでも、なんでもご相談ください。
嶋田 芳彦(地域連絡室・島田病院医療相談室)



何事も「一緒に考える」相談員を目指してがんばりたいです。
川畑 恭子(介護老人保健施設悠々亭)



気軽に相談して頂ける地域の窓口となれるよう頑張ります。どこへもお伺いしますの声をかけ下さい。
橋本 知子(在宅介護支援センター)



少しコワモテですが、話をすれば癒し系なのがおわかりになるかと思いますが。相談内容はもちろん厳守致しますので、一度ご相談下さい。
福森 剛(八尾はあとふる病院医療福祉科)



世間話でも何でもお気軽にお声をかけてください。
小倉 弘行(ゆうゆうハウス)



関わりを持つ様々な方々に信頼される相談員になれるよう、がんばります。
細川 弥恵(介護老人保健施設悠々亭)



写真のような笑顔で対応させていただきます。気軽に声をかけてください。
永井 希実(在宅介護支援センター)



見かけたら声をかけてください。何でも相談できるみなさまの良きパートナーになれるようがんばります。
井波 加奈子(八尾はあとふる病院通所リハビリ)

今回は、**法人管理局** から1チームをご紹介します。

清掃品質向上委員会

法人管理局の主なチーム

- ・請求事務管理委員会
- ・清掃品質向上委員会
- ・はあとふる編集部
- ・情報フィードバック委員会

本物の「キレイ」を目指して

業務科が主となり、島田病院と老健悠々亭の清掃業者（アダスト オオツカ）と、“キレイきれいチーム（通称）”を結成し、定期ミーティングを行っております。今回は、その中の取り組みを紹介します。

「患者さんの療養環境を守る」ことを第一目的に、清掃品質の向上と院内感染防止に役立てるため、清掃後に数値による評価を行い、その結果を現場作業員にフィードバックしています。

評価は、できるだけ客観的な数値が得られるように、毎月一回、定時定点、同一人物が行っています。評価者はアダスト オオツカ1名、清掃機器メーカー1名、業務科科長の3名です。

“臭い”や“清掃器具の清潔度”など、鼻や目を含め五感を働かせるものも含め、26項目で評価します。

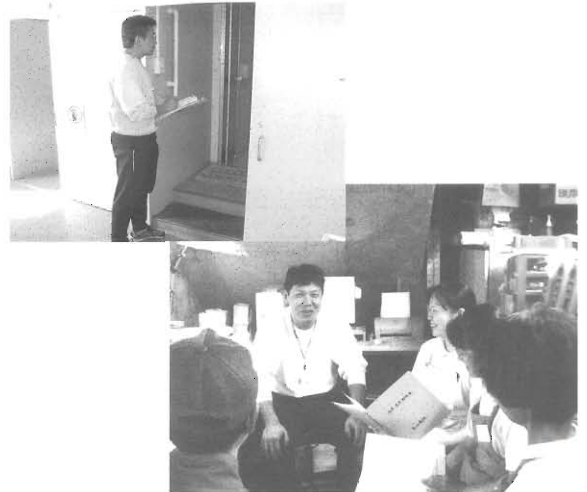
採点は10:素晴らしい 9:大変良い 8:良い 7:改善の余地あり 6:やり直しの5段階です。また、写真を添えることにより、フィードバックの際に現場作業員が、視覚で確認できるようにしています。

評価の点数そのものは、主観によるものとなるので、月ごとの点数の変化を見ることによって品質が向上しているかどうかを判定し、改善点を見出すようにしています。平成14年4月から10月までの結果、病室の床拭きを、一段階改善できました。

その他、評価のための巡回を行なうことにより、院内感染の観点から、病室内などで、ほこりのたまりやすい天井のひび割れや穴あきを発見でき、ほとんど費用をかけずに修繕できました。

現在は島田病院のみの評価となっておりますが、評価やフィードバックの方法を改善させながら、老健悠々亭でも取り組んでいく予定です。

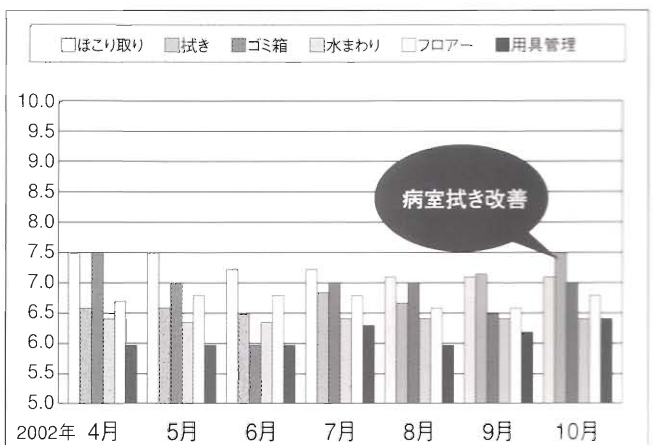
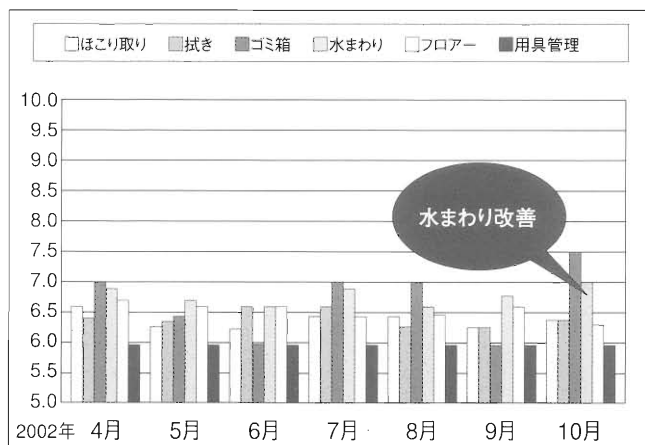
法人管理局 業務科 科長 東 眞司



評価チェック26項目

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 通風口 | 16. におい |
| 2. 棚 | 17. シャワー・バスルーム |
| 3. 壁 | 18. 部屋の隅 |
| 4. ブラインド・カーテン | 19. カーペットの汚れ |
| 5. 寝室カーテン | 20. 床の清潔さ |
| 6. 窓 | 21. 巾木の汚れ |
| 7. 家具 | 22. 床の輝き |
| 8. 電話 | 23. カートの清潔さ |
| 9. テレビ | 24. 化学製品のラベル |
| 10. ベッド | 25. 道具の清潔さ |
| 11. くずかご | 26. 管理室の清潔さ |
| 12. シンク | |
| 13. トイレ | |
| 14. 鏡 | |
| 15. バスルーム備品 | |

■評価点数表





中学生の労働(職場)体験

いつか一緒に働く日が来るかな?

島田病院や老健悠々亭では、中学生の学習の一環である「労働(職場)体験」の協力をしています。

11月の2日間、島田病院に近隣2校の中学2年生8人が来られ、病院での労働体験をしていただきました。

病院の実際の活動を初めて見た中学生の皆さんから、後日、届いた感想文より2つ紹介いたします。

- 病院ではいろいろな人が協力して仕事をしていることがわかった。診察では医者と看護師などたくさんの方が協力して患者さんを助けている。
- 診察の見学や処置の仕方を教えてもらったのは勉強になったけど、立ちっぱなしで足が痛かったのがつらかった。働いている人は毎日こんなことしているので、大変だとわかった。人の役に立つ仕事なので体験をして、病院で働きたいと思いました。だからしっかり勉強して将来なれたらいいな。

体験を受け入れたスタッフは、中学生の皆さんの反応に、新鮮な気持ちになりました。また、「毎日、忙しいので身体に気をつけてください」という感想文の言葉に癒されました。



島田病院の院内感染防止への取り組み⑦ リンクナースシステムの 具体的方法

感染管理担当 森下 幸子

標準予防策について

今回は、標準予防策についてお話をさせていただきます。これまで「接触感染経路別予防策」「飛沫感染経路別予防策」「空気感染経路別予防策」についてご紹介いたしました。この3つと大きく異なるところは、全ての患者様を対象に常に行うということです。これを、スタンダードプリコーションと私たちは言います。

つまり「すべての患者様の血液、体液、排泄物、傷のある皮膚、粘膜を感染性の物質として取り扱う」という概念です。例えば手袋を装着したり、血液や排泄物で衣服が汚れる時はエプロンやガウンを着たり、目に入るような処置がある場合はゴーグルをする等を決めています。

この予防策の目的は①医療従事者の手指を介して起こる交差感染から患者様を守ること②患者様が保有している病原体から医療従事者を保護する事により、患者様・医療従事者における感染の発生リスクを減少させるの2つがあります。

写真の様に、尿を処理するときには、手袋と使い捨てエプロンの装着を行っています。



読んで学ぼう

整形外科の まめ知識 2

なぜ肩がこるのか。

島田病院整形外科医長 金 国一

「何もしてないのに、腰が痛くなりました。」「別に肩こりのような仕事もしてないのに・・・。」というお話を、診察室でよく耳にします。この腰痛・肩こりは、どうやら主に筋肉の疲労が原因であることが多いようです。なぜ特別な事もしていないのに、筋肉が疲労するのでしょうか？

例えば、かい骨の骨格標本を立たせたり、座らせたりしようとした時に、手を離すと、ガラガラとくずれ落ちます。でも、生きている人間はそうではなく、姿勢を保つことができます。それは、姿勢を保つために筋肉が働いているからなのです。しかし、姿勢を保つためには、筋肉が緊張しっぱなしで、ゆるむ(弛緩する)ことがないため、筋肉内の血行が悪くなり、疲労が貯まりやすくなります。

筋肉は、緊張と弛緩が繰り返される歩行などでは疲労しにくいですが、座り仕事や立ち仕事など緊張が続くと疲労しやすいようです。

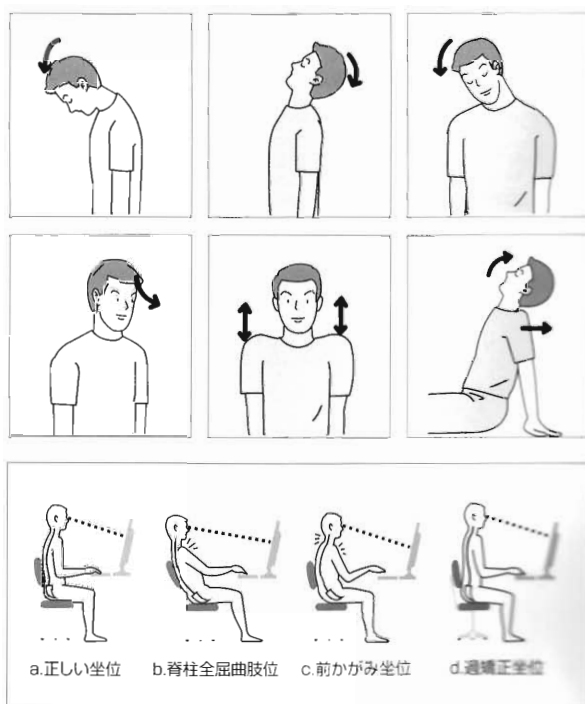
私の好きな故・桂 枝雀師匠も「落語には、緊張と緩和が、大切や。」と、おっしゃっていましたが、筋肉も緊張と緩和(弛緩)が必要です。

要するに、**同じ姿勢をずっと続けるとよくない**、ということです。座りっぱなしで仕事などをしているときは、ときどき、立って身体を動かさなアカンのです。

では、どうしましょう？

島田病院 リハビリテーション科
理学療法士 西上 智彦

- 肩こりを改善させるには筋肉をほぐすことが大切です。ほぐすには2つの方法があります。1つ目は筋肉を伸ばすこと、つまりストレッチです。こうすることによって筋の緊張が緩和します。もう1つは筋肉の収縮-弛緩を繰り返すことです。そうすると、血液の流れが良くなり、筋肉内に溜まった疲労物質(痛みを誘発するもの)が押し流され痛みを緩和します。
- 動かすときの注意点としては激痛が走るまで行わないことです。『気持ちええな〜』というところで止めておくことがポイントです。また、一度にたくさん行うのではなく、こまめに数回ずつ動かすほうが効果的です。
- もう1つは正しい姿勢で座ることが大切です。正しい座り姿勢とは背骨が適度な彎曲を保たれている姿勢です。真っ直ぐになりすぎても曲がりすぎてもいけません。
- 肩こりは特別な病気ではなく、筋肉をほぐすことや姿勢を正すことで改善できる疾患です。みなさん肩こりとさよならしましょう!!



きくぞう君への投書から



ご意見(1)

- 2階病棟の職員の対応は、全ての方が明るく話しやすい。
- 先日トイレに洗浄器が取り付けられほんとうに助かっています。感謝!送迎の運転手様各位の対応も実によく気がばりしてくださって感謝しています。

65歳 男性(原文のとおり)

「きくぞう君」はご利用者の声を業務の向上、施設改善に反映させるためのシステムです。ご意見・ご質問など、お気軽にお寄せください。

回答

この度は、お褒めの言葉をいただき、全員が喜んでおります。病棟マネジャーとして、患者様からスタッフについて高い評価をいただいた事は、何よりも嬉しい限りです。今回、患者様からいただいた言葉を力とし、今後も引き続き教育を行い、看護の質を高める努力をしたいと思います。ありがとうございました。

2階病棟
マネジャー 浦田 雅代

お褒めのお言葉をいただきありがとうございます。設備につきましては、ご利用のみなさまが使いやすく快適に過ごしていただけるように少しずつ施設の改修・充実を進めています。

先月には、正面玄関の自動ドアの設置と玄関前スロープ改修、病棟でのプライバシーに配慮した公衆電話・投書コーナーの設置、病棟トイレウォッシュレットの設置を行いました。また現在進めているのは、売店・憩いスペースの充実、図書室の設置、玄関横公衆電話コーナーの新設です。

今後も、みなさまの視点に立って施設の改修・充実を行って参ります。

また運転手の対応につきましては、今後もご利用のみなさまを安全で快適に送迎するように心がけて参ります。

業務科科長 東 眞司
運転手一同

改修工事につきましては11月下旬時点の状況で、現在、売店・図書室(近日オープン予定)・玄関横公衆電話コーナーの設置の全てが終わりました。この次は、外来トイレの改修を計画しております。

避難消火訓練実施!

火災から“守る”

消防法施行規則 第3条で病院は、「年2回の避難消火訓練を行わなければならない」と定められています。

八尾はあとふる病院では、11月15日に、新病院移転後はじめての避難消火訓練を実施しました。今回は、秋の火災予防週間に合わせ八尾市消防署と合同で避



難救助消火訓練も同時に行いました。

新築した当院は、最新式の防災設備に守られた施設ですが、万一に備えて、その設備を使いこなせるように、職員への継続的な訓練・指導が大切です。

また、何より火を出さない、また火災にならない予防対策が重要となります。その為にも院内においては指定場所以外での喫煙をご遠慮頂いています。

皆様のご協力のもと、院内の防災活動に職員一同取り組んで参ります。

八尾はあとふる病院
防火管理者 堺 幸徳

第11回

はあと&はんずアカデミー

11月17日(日)

得意技を[決める][磨く][競う]

をテーマに開催いたしました。このテーマは、平成14年度のグループの基本方針でもあります。

演題総数32(口演20 ポスター12)と、昨年を上回る演題数となり、また回を重ねる事に、プレゼンテーションも洗練され、職員の成長が感じられる一日となりました。

学会長は、島田病院整形外科の金医長が務め、次回の八尾はあとふる病院の坂本院長にバトンが渡りました。

はあとto ハート

インフォメーション

<使 命>

良質のヘルスケアサービスを
効率よく地域の方々に
提供し続けます

<職員憲章>

私たちは、その人が
その人らしく自分の人生を全うすることを
心(Heart)と技術(Hands)で支援します

はあとふるグループは、個人の価値観を尊重し、
その人の「自立」や「その人らしく生きること」を支援する
ヘルスケアサービスを提供します。

ミニスポーツセミナー

主催/島田病院

●●●● 開催スケジュール ●●●●

1 シューズ選びのポイント

平成15年2月15日(土)午後4時~6時

- ・競技別のスポーツシューズの特徴や
選び方について
 - ・靴の評価試験機の紹介など
- 話題提供者:長谷川 陽三 氏

(元 ミズノ株式会社 スポーツ科学研究室主任研究員
現 大阪国際女子大学 講師)

場 所:介護老人保健施設 悠々亭 地下1階 食堂

お問い合わせは— ☎0729-37-1511

家族介護者教室

主催/在宅介護支援センター悠々亭

●●●● 開催スケジュール ●●●●

1 法話を聞いて元気になあれ

平成15年1月20日(月) 午後2時~3時

講師 西琳寺 御住職 水谷 明戒 氏

2 今からでも間に合う花粉症対策と薬の豆知識

平成15年2月25日(火) 午後2時~3時

講師 島田病院薬剤科 上:田 篤子

3 私の在宅介護体験談

平成15年3月日時未定

場所はいずれも介護老人保健施設悠々亭6階会議室です

お問い合わせは— ☎0729-53-1003

セミナーのご案内

南河内圏域 地域リハビリテーション研修会

日 時:平成15年3月9日(日)午後1時~4時半

会 場:藤井寺市立市民総合会館 小ホール

内 容:基調講演

南河内地域リハ連絡協議会会長
医療法人 永広会 島田病院 院長 島田 永和
シンポジウム

「南河内圏域における
地域リハビリテーションを
専門スタッフから考える」

お問い合わせは— ☎0729-52-1590

第9回スポーツ選手・指導者交流会

競技スポーツにとどまらず、生活の中での身体活動は人間にとって、とても大切なものです。島田病院では、スポーツを実際に行っている選手、指導者の方々が安心して運動を行なえるようサポートする役割があると考え、年に1回スポーツ選手・指導者交流会を開催しております。

今回のメインテーマは、「スポーツ障害」です。スポーツ現場で活用していただい、ケガの予防のお役に立つよう、私たちの行っている治療の考え方や方法についてお話いたします。

日 程:平成15年2月1日(土)

午後5時45分開始(5時30分受付開始)

場 所:天王寺 都ホテル(近鉄百貨店横)

費 用:無料(懇親会参加費 一般2,000円 学生1,000円)

お申し込みは—

TEL/FAX共通 ☎0729-37-1511 はびきの健康プラザ(直通)
または、島田病院1階受付へご連絡下さい。



はあとふるグループ

医療法人(財団)永広会

島田病院 Tel.0729-5340011
はびきの健康プラザ ウェルネス Tel.0729-3715111
介護老人保健施設 悠々亭 Tel.0729-5341002
在宅介護支援センター 悠々亭 Tel.0729-5340003
ヘルパーステーション 悠々亭 Tel.072953-10662
介護サービスセンター ゆうゆう亭 Tel.072953-55514
訪問看護ステーション ハートパークはびきの Tel.072953-10004
〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山100-1

八尾はあとふる病院 Te.0729-99-0725
介護サービスセンター はあとふる Tel.072999-8126
〒581-0818 大阪府八尾市美園町2-18-11

社会福祉法人 はあとふる

高齢者生活福祉センター ゆうゆうハウス Tel.0729-3143115
〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山96-10